

▼トレリーフ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ゾニサミド Zonisamide 【分類】パーキンソン病治療薬

【単位】▼25mg/錠

【常用量】25mg/日 [50mg/日まで使用可能であるが、25mg/日を上回る効果は確認されていない]

【用法】レボドパ製剤と併用し、1日1回投与

■パーキンソン病でレボドパ含有製剤に他の抗パーキンソン病薬を使用しても十分に効果が得られなかった場合に適用。

【透析患者への投与方法】常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量 (5)

【特徴】抗てんかん薬の治療中にパーキンソン病症状の改善が認められたことから開発された。抗てんかん作用よりも低用量で用いられる。レボドパ投与による線条体細胞外液中ドバミンレベルの上昇を増強する作用がありその機序は MAO-B 阻害作用やドバミン放出促進等が考えられている。単剤での効果は確認されていない。ウェアリングオフ改善、運動症状の改善、オフ時間短縮、振せん改善効果などがあるという。振せん改善効果には、T 型 Ca チャネル阻害用が関与しているという。

【主な副作用・毒性】悪性症候群、SJS/TEN、過敏症候群、血球減少、間質性肺炎、急性腎不全、横紋筋融解症、腎・尿路結石、精神症状、眠気、食欲不振、肝機能検査値異常、無気力、自発性低下、運動失調、悪心・嘔吐、倦怠感、脱力感、精神活動緩慢化など

【吸収】食事により Cmax は低下するが、AUC は変わらない (1)

【tmax】1~10hr, 平均 4hr (1)

【代謝】一部が肝代謝され、CYP3A4 が関与 (1) 主代謝物はイソキサゾール環開裂体のグルクロン酸抱合体 (1)

【排泄】尿中に未変化体として 28.9~47.8%、主代謝物 [イソキサゾール環開裂体のグルクロン酸抱合体] 12.4~18.7%で、投与量の 47.6~60.2%が尿中に回収される (1)

【CL/F】1.91±0.65L/hr (1)

【t1/2】94.0±26.3hr (1)

【蛋白結合率】48.6% (1)

【Vd/F】239.6±31.7L/man (1)

【MW】212.23

【透析性】除去率 50~70% (1) 【PD 除去率】PD クリアランス 0.23~0.30L/hr, 除去率 18.7% (1)

【OW 係数】1.04 [クロロホルム/水系, pH7.04] (1) 【pKa】9.66 (25°C) (1)

【更新日】20231130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。